百周年記念事業協賛募金へのご協力をお願い申し上げます

日本工業大学後援会 会報 第73号

発行／日本工業大学後援会
埼玉県南埼玉郡宮代町学園台四―一
☎（〇四八〇）三四―四一一一（代）
平成十八年十一月三十日
http://nitkouenkai.jp/

後援会活動の実り

会長　佐伯　みち子

会員の皆様におかれましては、日々ご健勝のこととお喜び申し上げます。又平素より後援会活動にご理解ご協力を賜り厚くお礼申しあげます。

本会最大事業の「地域別教育懇談会」は、台風の影響で迷惑をおかけすることもありましたが、各支部の方々のご努力により、すべての日程を無事終了できましたことをお礼申しあげます。支部によりましては、会員数の減少もみられますが、後援会では、支部と大学と協力し、多くの学生に入学を希望してもらえるよう様々な活動、努力に努めて参ります。

また懇談会には各支部へ柳澤学長はじめ多くの先生方に出向いて頂き、個人面談では親身にお話頂き、ご父母の皆様より多くの感謝の言葉が寄せられました。同行し細かい配慮をしてくださいました事務局の方々にも本部役員一同心より感謝申しあげます。

そして、本年度の総会においてご承認いただきました特別事業であります、購買部のコンビニ化の工事が終了致しました。明るく清潔で品揃えも良く便利になり、多くの学生達に喜んで利用してもらえており、大変有意義な事業であった事をご報告申しあげます。

さて、平成十八年度の就職は売り手市場と言われておりますが、本大学にも学生一人あたりに約10社の求人という、大変恵まれた状況にあり、多くの学生が早い時期に内定しています。まだ決まっていない学生さんがいましたら、どんどん就職支援課へ相談する事を薦めます。現役で就職できるようご家族の応援宜しくお願いします。

後援会活動も、年度の折り返しに差しかかりました。今年度もすでに多くの実りを実感しております。これも会員皆様のご支援の賜と感謝申しあげます。

早いもので今年もあと僅かとなりました。慌ただしい年の瀬を迎える時期となりましたが、どうぞお体にご留意され、良いお年をお迎えください。会員ご家族のご多幸を心よりお祈り申しあげます。

購買部リニューアルオープン！

～明るく、品揃え豊富にコンビニ化～

会報71号にてお知らせしましたが、平成18年度の特別事業は、総会においてご了承いただきましたとおり19年度との2ヵ年の継続事業として「購買部のコンビニ化及びテラスの新設」が計画されました。その第一弾として、購買部の改装が完工し、10月2日の秋学期開始日にリニューアルオープンしました。

豊富に陳列された商品を品定めする学生たち

店内は、品揃えは街中のコンビニと同じでありながらも、これまでと同様に安価での販売に努めています。また、ポスレジを3台導入し、スムーズな精算と在庫管理が可能になりました。

書籍売り場のスペースも拡大し、照度も以前と比べると格段と明るくなり、より快適な店内になりました。

現在、購買部の隣に百席余りを収容できるダイニングテラスを建築中ですが、この場所では焼きたてのパンを提供したり、インスタント食品・パン・おにぎり等の自動販売機を設置して二十四時間開放します。夜間、研究に励む学生達の胃袋も学外へ出ることなく満たされることでしょう。テラス部分の内装は、特別事業委員会の意見が取り入れられ、木のぬくもりを感じられるウッディ調となっています。また、空調設備も導入されています。

明るく入りやすい雰囲気になったエントランス

今後は、大食堂と購買部をつなぐ通路に屋根を新設し、そこにもテーブルと椅子を設置して食堂の混雑緩和を図ってまいります。

この事業は学生が日常的に利用する施設の改善であり、会員からも多くの関心が寄せられています。何より学生諸君が完成を心待ちにしているところです。

書籍コーナーのスペースも広々と

この印刷物は古紙の配合100%の再生紙を使用しています

平成18年度 地域別教育懇談会を23会場で開催

大学の日指す教育改革に積極的に関心を持ってみませんか？

今年度の「地域別教育懇談会」は、9月2日から24日まで、支部主催19会場、本部主催4会場の計23会場で開催され、無事全日程を終了しました。

総会員数46866名の内、636名が参加し、出席率は13・6%。支部主催のみの出席率は22・3%とほぼ昨年と同様の結果となりました。ちなみに昨年度より出席率が向上した支部は、蔵王、栃木、茨城、秋田、福島、沖縄、山梨、西中国、新潟、岩手の10支部でした。（詳細は次頁）

今年は、近県（埼玉・東京・神奈川）の開催を9月中に設定したことから過密スケジュールとなり、10名の役員方には、毎週のようにご各支部へご足労いただき大変お骨折りをいただきました。ありがとうございました。

また、9月17日に開催の九州地方は、運悪く台風の直撃に会い、交通が麻痺したため会場まで向かう途中で止むを得ず引き返した会員もいらっしゃいました。そのため、当初は5名参加予定でしたが、結果1名ということになった次第です。なお、出席予定の方には成績表とコメントをお送りしました。

翌18日は四国で開催のため、九州から四国へ飛行機で移動する予定でしたが、運休となり急遽電車で移動することに。開始時刻から大幅に遅れての到着となってしまいましたが、会員の皆様は暖かいお気持ちで待っていてくださいました。心より感謝申し上げます。

赤倉山荘にて理事会

10月21日（土）、新潟県の妙高高原にある日工大セミナーハウスの一つ「赤倉山荘」において役員会・理事会が開催されました。当日は50名が出席し、①教育懇談会及び支部総会の実施報告、②平成18年度予算執行状況、③平成18年度環境分野研究奨励助成、④新聞広告、⑤特別事業の進捗状況などの議事について話し合いました。

会議後の懇親会では、佐伯会長から柳澤学長に素敵なサプライズが用意されました（写真）。また全国から持ち寄られた銘酒を酌み交わしながら大いに語り明かしました。「赤倉山荘」のお風呂は天然温泉。湯の花が浮く硫黄泉で寒い季節にはとても体が温まります。スキー場に近いので、これからのシーズン是非一度ご利用してみては。

懇親会では柳澤学長の誕生日を祝し、佐伯会長からケーキのプレゼントがありました。ローソクの灯を吹き消す学長に「お誕生日おめでとう！」のあたたかい歓声と拍手。

支部創立30周年を祝して記念式典

近畿支部創立30周年を祝して鏡開き

昭和51年に後援会の支部第一号として新潟県支部が誕生し、それを追う様にして全国に支部設立の波が広がっていきました。あれから様々な歴史を経験しながら、今年いよいよ30周年を迎えた支部が9支部あります。その記念すべき年を祝おうと各支部で式典や祝賀会が開催されています。前号にてお知らせした栃木県支部に続き、9月3日に近畿支部、11月18日には新潟県支部で行われました。

近畿支部は、当初近畿・東海支部として全国で3番目に設立されましたが、会員数の増加に伴い平成8年に近畿支部と東海支部に分割されたので、それから10周年ということになります。

近畿支部には来賓として佐伯会長、寺嶋元会長、藤田総務部長が、新潟県支部には佐伯会長、柳澤学長、渋谷総務課長が出席しました。また歴代支部長らにもご参集いただき、盛大に鏡開きをした後、祝杯を挙げながら支部の益々の発展を願いました。

支部長交代

9月の地域別教育懇談会と同日に14の支部で総会が開催され、支部長が交代いたしました。新支部長の皆様、一年間宜しくお願い申し上げます。

茨城県支部長	青木光一（E3）
群馬県支部長	須川　浩（A3）
北陸支部長	北口敬一（A2）
山梨県支部長	芝垣直秀（A3）
千葉県支部長	門口　満（C2）
長野県支部長（再任）	湯澤良雄（S3）
西中国支部長	柿本千春（A4）
東中国支部長（再任）	横田幸男（A3）
岩手県支部長	伊藤敏夫（M4）
沖縄県支部長（再任）	知花賢良（C3）
東海支部長（再任）	神戸和幸（E3）
新潟県支部長	永野正人（M3）
近畿支部長	伊藤　茂（A2）
静岡県支部長	中山晃一（A3）

以上敬称略

平成18年度地域別教育懇談会実施結果一覧

(H＝共通系　M＝機械工学科　E＝電気電子工学科　A＝建築学科　S＝システム工学科　C＝情報工学科)

主催支部名	月日(曜)	開催市町村	開催会場名	対象地域	会員数(人)	出席者数(人)	出席率(%)	大学教員出席者
蔵王支部	9月 2日(土)	山形市	オーヌマホテル	山形県 宮城県	110	35	31.8%	玉木教授(M) 谷本教授(E) 伊藤教授(A) 加藤教授(S) 高瀬講師(C)
北陸支部	9月 2日(土)	金沢市	メルパルク金沢	富山県 石川県 福井県	32	13	40.6%	神助教授(M) 森田教授(E) 田中講師(A) 片山教授(C)
長野県支部	9月 2日(土)	佐久市	メルパルク長野	長野県	131	15	11.5%	渡辺副学長 宮澤教授(M) 森助教授(E) 桑原教授(A) 正道寺助教授(S) 坂本教授(C)
群馬県支部	9月 3日(日)	前橋市	マーキュリーホテル	群馬県	251	35	13.9%	原副学長 枝根助教授(H) 寺島助教授(M) 石川教授(E) 岩隈助教授(A) 渡辺顕教授(S) 小林教授(C)
栃木県支部	9月 3日(日)	宇都宮市	ホテル丸治	栃木県	369	78	21.1%	梅崎学生支援部長 酒井教授(H) 高木助教授(M) 増本講師(M) 菅原教授(E) 青柳講師(E) 高橋講師(A) 貫井講師(A) 飯倉助教授(S) 鈴木清教授(S) 神力教授(C) 山地講師(C)
千葉県支部	9月 3日(日)	千葉市	プラザ菜の花	千葉県	273	34	12.5%	波多野教育研究推進室長 長谷川助教授(H) 野口助教授(M) 日下部助教授(E) 西山講師(A) 石田講師(S) 勝間田講師(C)
茨城県支部	9月 3日(日)	筑西市	県西生涯学習センター	茨城県	412	63	15.3%	柳澤学長 廣澤助教授(H) 丹澤助教授(M) 佐藤教授(M) 中村教授(E) 谷澤教授(E) 白石教授(A) 小川助教授(A) 八木田助教授(S) 石川教授(C) 田村講師(C)
近畿支部	9月 3日(日)	宝塚市	ホテル若水	大阪府 京都府 奈良県 滋賀県 兵庫県 和歌山県	33	6	18.2%	藤田総務部長 川村教授(A)
秋田県支部	9月 9日(土)	秋田市	協働大町ビル	秋田県	67	37	55.2%	堀田図書館長 兼子教授(M) 吉澤教授(E) 福田講師(A) 星野教授(S) 大木教授(C)
福島県支部	9月 9日(土)	郡山市	清稜山倶楽部	福島県	167	42	25.1%	塚林助教授(H) 小倉教授(M) 石田教授(E) 加村講師(A) 鈴木敏正教授(S) 片山教授(C)
沖縄県支部	9月 9日(土)	那覇市	琉球サンロイヤルホテル	沖縄県	2	2	100.0%	渋谷総務課長
山梨県支部	9月10日(日)	春日居町	ホテル春日居	山梨県	15	11	73.3%	有賀教授(M) 木許講師(E) 武田教授(A)
青森県支部	9月10日(日)	青森市	青森国際ホテル	青森県	82	27	32.9%	田辺助教授(M) 飯塚講師(E) 高橋講師(A) 中村教授(S) 矢部教授(C)
東中国支部	9月10日(日)	津山市	津山国際ホテル	岡山県 鳥取県	14	8	57.1%	酒井教授(M) 黒津教授(A)
西中国支部	9月10日(日)	松江市	松江東急イン	広島県 山口県 島根県	7	4	57.1%	藤田総務部長
東海支部	9月17日(日)	名古屋市	名古屋市民会館	愛知県 三重県 岐阜県	16	5	31.3%	堀口講師(E) 川村教授(A)
新潟県支部	9月17日(日)	長岡市	長岡グランドホテル	新潟県	104	41	39.4%	柳澤学長 佐藤講師(H) 竹内教授(M) 山口助教授(E) 小笠講師(A) 鈴木宏典講師(S) 伴助教授(S) 丹羽助教授(C)
静岡県支部	9月17日(日)	静岡市	清水テルサ	静岡県	104	27	26.0%	酒井財務部長 丹治講師(M) 吉田講師(E) 市橋教授(A) 大岸講師(A) 椋田教授(C)
岩手県支部	9月17日(日)	盛岡市	南部会館サザンパレス	岩手県	40	16	40.0%	藤田総務部長 兼子教授(M) 當山講師(E) 岩隈助教授(A) 渡部教授(S) 石川教授(C)
本部(九州)	9月17日(日)	福岡市	サンライフホテル1	九州	12	1	8.3%	倉島用度・管財課長
本部(四国)	9月18日(月・祝)	高知市	ホテルサンルート高知	四国	11	4	36.4%	〃
本部(北海道)	9月18日(月・祝)	札幌市	ホテルサンルート札幌	北海道	13	2	15.4%	渋谷総務課長
本部(近県)	9月24日(日)	宮代町	大学	東京都 埼玉県 神奈川県	2,421	130	5.4%	柳澤学長 渡辺副学長 原副学長 梅崎学生支援部長，波多野教育研究推進室長 堀田図書館長 寺尾共通系主任 大場入試室長 藤田総務部長 酒井財務部長 栗本教務課長 吉見学生・就職支援課長 機械主任含む5名 電気電子主任含む5名 建築主任 含む5名 システム主任含む6名 情報主任含む6名
合　計			23会場		4,686	636	13.6%	延べ138名 (昨年は140名)

屋内ステージでの催しも盛りだくさん

青森県人会のリンゴ販売は毎年好評です

第38回若杉祭が11月3日から5日まで開催されました。期間中は穏やかな晴天に恵まれ、多くの人々が来場しました。

今年のテーマは『結～ｙｕｉ～』。このテーマには、〝点と点を結ぶ〟という意味があり、〝点〟は人々のことを表しているそうです。太学祭実行委員会委員長柴田直樹君（Ａ３）は、オープニングセレモニーの挨拶の中で、たくさんの人たちと同じ気持ちを分かち合い、この若杉祭を成功させたいという熱い思いを語ってくれました。

２日目に体育館で行われた「TALK&LIVE2006」という催しには、吉川ひなの、江戸むらさき、タイムマシーン3号といった人気の芸能人がゲストに。会場には千人を超える観客が訪れ、熱気と興奮の渦に溢れました。３日目の恒例「秋のからっ風こんさぁと」では、人気急上昇のmihimaru GTが若杉祭最終日を盛り上げてくれました。mihimaru GTは、２ヶ月で12大学を回るという多忙なスケジュールをこなす男女のユニット。パワー全開の舞台に、何度もアンコールの歓声が鳴り響きました。

そして最後は恒例となった二百発を超える打ち上げ花火。秋の澄んだ夜空を彩る中、第38回若杉祭は盛況のうちに幕を閉じました。

第38回 若杉祭
結
～Yui～
平成18年11月3日（金・祝）
～5日（日）

たこ焼き作りも堂に入っています

若杉祭に合わせて大学視察も
恒例となった福島県・青森県支部に加え千葉県支部も初参加

柳澤学長よりお話を聞く

若杉祭中日の11月4日（土）には、3支部が大学視察研修を企画し来学しました。今年は、恒例となった福島県支部、青森県支部に加え、千葉県支部が初参加。千葉県支部は工友会との交流が盛んで、同日開催のホームカミングデーにも参加しました。

参加者は合わせて約60名。まず学友会館にて各支部長の挨拶があり、柳澤学長より学園の歴史や大学の現状の話などをいただいたあと、学内の主な施設や大学祭を見学しました。UHVでは人工的に雷を落とす実験を体感し、あまりの衝撃にびっくりしたり、また、この日は本学に動体保存している本物のSLも走っており、実際に乗車してみたり、スランプラリーに挑戦してお菓子のつかみ取りをしたりと、童心に帰って楽しそうにはしゃいでいる会員の姿がとても印象的でした。

学内見学は堅苦しいと思っている方も、大学祭期間であれば楽しさも倍増です。ぜひ一度訪れてみてはいかがでしょうか。

UHVの落雷実験を真剣に見学する会員

ホームカミングデーも大盛況

恒例となったホームカミングデーが大学祭期間中の十一月四日に開催されました。今回は主に卒業後30年（7期）・20年（17期）・10年（27期）の卒業生に参加を呼び掛けました。当日は博物館・各センターを中心とした学内見学ツアーで、いまの大学を実感して頂きました。懇親パーティでは、情報工学科棟5階において大川理事長、柳澤学長、渡辺工友会会長をはじめ二〇〇名を超える教職員、卒業生が一堂に会しました。会場に展示された学生時代の思い出の写真や同窓会新聞に目を凝らし、懐かしく談笑する様子があちらこちらにみられました。

大抽選会も好評で、最後は会場に流れた校歌斉唱とともに参加者のみなさんが肩を組み、最高潮となりお開きとなりました。

工業技術博物館を見学するOB

支部連絡協議会（支部長会）を開催

～「地域別教育懇談会」を振り返って意見交換～

11月25日（土）午後二時半より大学の会議室において「支部連絡協議会（支部長会）」が開催されました。議題は主に「地域別教育懇談会」の実施報告について。各支部長には事前にアンケート形式で報告書に回答してもらい、それに基づいて小笠原地方事業委員長の司会により進行しました。今回は全19支部より支部長もしくは支部長代理、及び本部役員が出席しました。各支部のコメントを簡単に抜粋しました。

蔵王　大学の様子が理解できてよかった。工友会にも出席を依頼し就職について話を聞いた。

北陸　学科により出席人数にバラツキがあるので時間配分の工夫が必要。

長野　案内を早めに出すようにしたい。次期支部長の選出に苦慮。

群馬　返信のない会員全員に電話で出席の勧誘をしたのが大変だった。

栃木　待ち時間に講演を実施したのが良かった。参加者が増えたのは役員の努力の賜物。

千葉　年10回役員会を開いている。初めて学園祭見学を実施した。

茨城　公共の施設を利用したため時間の管理が難しかった。十分に相談ができ納得できたのでは。

近畿　大学・本部事務局と親しく接することができよかった。創立30周年記念祝賀会を同日開催。

秋田　青森県支部とお互いの会場に参加し合い、参考になった。今年から会報の発行を始めた。

福島　地懇開催の模様を地方新聞に載せた。電話呼び掛けで参加者が増えた。大学視察、忘年会などを催し会員の交流を図っている。

沖縄　支部長自ら工業高校に訪問し学生募集を呼び掛けている。

山梨　出席率が高く個別面談も十分にでき有意義な懇談会になった。

青森　前年に参加した会員の感想文を案内に同封。秋田県支部に支部長が参加し交流を深めた。大学視察を実施。

東中国　会員数が少なくアットホームな雰囲気でよかった。

西中国　役員選出に苦慮。臨時総会を開催。工友会との交流を深めて行きたい。

東海　後援会への関心が薄れている。工友会とは密に交流。

新潟　役員のまとまりが良い。支部創立30周年記念式典を実施。

静岡　日程変更のため会場の確保に苦慮。工友会との交流あり。

岩手　開催準備に時間がなかった。当日のスケジュールに工夫が必要。

意見交換の議題として、支部単位で大学創立百周年記念の積立をしていただいている件について、大学にどのようなかたちで寄付をしたら良いかとの相談がありました。この件に関しては、佐伯会長より、「支部の意向を一番に尊重しながら本部が取りまとめる必要があれば、相談しながら決めて行きたい」との回答がありました。

また、大学に対する要望として、「他大学にない特徴を持った大学にして欲しい」「学生数が激減している地域の学生募集にもっと力を入れて欲しい」との意見が出され、当日出席された柳澤学長に直接訴えかけました。学長は「根本的な宿題として受け止めたい」と回答されました。

3時間半に亘る会議は、各支部長や役員の皆様の熱意とご努力が窺い知れ、大変有意義なものとなりました。一人でも多くの会員の皆様に後援会の意義をご理解いただけることを願って止みません。

四年生のご父母の皆様へ

～平成十八年度卒業アルバムのご案内～

私たち日本工業大学卒業アルバム委員会では「平成十八年度卒業アルバム」を現在作成しています。各学科、各研究室のページや一年次からの学内風景、学生行事のページがあり、非常に見ごたえのある内容となっております。一生涯の思い出に残る大学生活の記念としてご購入いただけますようお願い申し上げます。全頁フルカラーで価格は送料込みで一万円です。

【お申込み方法】

お申込みは、すでに当委員会から学生に配布している振込用紙にてお振込みいただくか、又は直接、下記連絡先にお申込みいただくかをご子息様と相談していただくよう宜しくお願い申し上げます。尚、当委員会に直接申込みをしていただいた場合には、振込み用紙をご自宅に送付させていただきます。

【お申込み締切日】

平成十九年一月末日

【お渡し方法】

卒業アルバムはお申込みの際、ご記入していただいた住所にご郵送いたします。発送は卒業アルバム委員会の委託した株式会社メディア出版が印刷・製本を行い、代行して発送いたします。

※個人情報は卒業アルバムの発送以外では使用いたしません。

【お届け日】

平成十九年二月二十日（学位記授与式当日）

【連絡先】

ご不明な点などありましたら、卒業アルバム委員会までお問い合わせください。

☎：0480－34－9756

（受付時間は平日12時40分～13時10分及び16時20分～19時20分）

E-mail：nit_album@hotmail.co.jp

※メールの場合、確認に時間がかかることがあります。

カナダ英会話特別セミナー手記
「初めての海外旅行」

情報工学科4年　岩本　伸夫（神奈川）

船上から見たカナダプレイスの夜景

私は、今年の夏休み8月20日から9月14日まで、カナダ特別セミナーに参加しました。

成田空港を出発してサンフランシスコで乗り換え、そこで初めての入国審査。もちろん英語で質問され何を言っているのかわからなかったが、前もってこれを言えばいいといわれた単語を言って無事アメリカに入国し、そこからまた飛行機でカナダのバンクーバーに到着しました。半日バンクーバーの市内観光をした後ＵＢＣの学生寮に一泊。翌日ホストファミリーが迎えに来てくれましたが、ここでもう日本語の通じる人がいなくなってしまい、ホストファミリーの家に着くまでの車の中は不安でいっぱいでした。家に着いてびっくりしたのが玄関で靴を脱ぐということでした。後日聞いた話によると家庭によって違うとのことでしたが、靴を履いたまま生活すると思っていたので意外でした。

次の日からついにＵＢＣでの授業が始まりました。朝八時に家を出てバスに乗ってＵＢＣへ向かい、午前中は授業を受けて、午後はアクティビティでダウンタウンウォーキング、カヤック、サイクリング、ゴルフ、サンセットディナークルージング、川へ水遊びに行ったりと今までやったことのない貴重な体験をたくさんしました。その中でもサンセットディナークルージングは景色がとても美しく感動しました。

カナダに着いて最初の週末を迎え、土曜日はスティーブストンへ行き、観光をしてレストランでフィッシュ＆チップスを食べました。日曜日は車でアメリカのシアトルへ。島国の日本ではありえない陸路での国境越えをし、スターバックス一号店などを観光した後、今回の旅行で一番の楽しみでもあった大リーグ観戦。セフコ球場の雰囲気に圧倒され、何よりイチローを見ることができ大興奮でした。

ダウンタウンウォーキングで仲間たちと（右上が岩本君）

初めて食べたフィッシュ＆チップス

次の週末は月曜日が休日だったので三連休でした。土曜日は一緒に来た日工大生二人とグラウスマウンテンへ。せっかくだから歩いて登ろうということになりました。日頃の運動不足と思った以上の急な山道でバテバテで、結局上りきるのに一時間半ぐらいかかりましたが、景色がきれいでグリズリーの子供も間近で見られたので登った甲斐がありました。帰りはもちろんロープウェイで降りました。日曜日はバンクーバー水族館とサイエンスワールドに行きました。月曜日はスカイトレインに乗ってメトロタウンのショッピングモールまで買い物に行きました。この連休からカナダを去るまでの一週間は時間が経つのがとても早かったです。

グリズリーの子供と対面

今回のカナダ特別セミナーに出るまでは、別に海外なんて行かなくてもと思っていましたが参加してとてもいい経験になりました。何より嫌いだった英語をもっと勉強して、ちゃんと会話ができるようになりたいと思いました。

アクティビティでは川で水遊び

吹奏楽団定期演奏会

平成18年10月29日（日）、「春日部市民文化会館大ホール」にて、「日本工業大学吹奏楽団第23回定期演奏会」が開催されました。

今年は例年よりも開催時期が一ヶ月ほど早く、団員達は練習と準備に慌しい日が続いたそうです。

この定期演奏会も近隣の方々に毎年の行事として定着され始めたこともあり、9月中から電話による問い合わせが相次ぐほどの人気振りでした。そして当日は、なんと千三百人を超す来場者がありました。

今年のテーマは「生放送ＴＨＥヒットコンサート！」。上を向いて歩こう、ブルーシャトー、カーペンターズフォーエバーなど懐かしい曲が続きました。会場には演奏にあわせて楽しそうに口ずさむ観客の姿がたくさん見られました。

平成18年度環境分野研究奨励助成金採択研究テーマ一覧

今年度は15件の申請があり、その中から以下の6件の研究テーマが採択されました。

	研究テーマ及びチームの構成	研究期間	研究の概要
1	研究テーマ：超低燃費エコラン車両の製作と燃費競争 研究代表者：小倉　勝　機械工学科　教授 教職員：小倉　勝　機械工学科　教授 学　生：小倉　正崇（修士課程） 川村　高秀　平沢　史一（4年） 君島　一弘　石田　直樹（3年）	平成18年 6月 1日 ～ 平成19年 12月10日	地球温暖化が深刻な問題となっている今日、車両から排出されるCo2を低減する高熱効率の低燃費エンジン開発が活発に行われており、本学でも低公害・低燃費に関する研究を精力的に行ってきた。その実績を踏まえて、エンジンの経済的な走行法を電磁低減駆動バルブで実現する方法を考案し、その開発を行っている。そこで、このシステムを搭載したエコランカーを製作し、ホンダ技研主催のエコラン大会に参加し、「マシンの製作において、独創性が感じられ最も技術的に優れているものに送られる技術賞」にチャレンジするとともに、燃費競争で入賞を狙う
2	研究テーマ：メタン発酵処理による学生食堂排水の浄化 研究代表者：佐藤　茂夫　機械工学科　教授 教職員：小倉　勝　機械工学科　教授 学　生：前田　宏樹（卒研生） 飯塚　浩一（4年）石川　佳典 大竹祥太郎 黒須　健太郎 黒田　雅人 郡司　雅之 小島　直之 佐藤　隆洋 実川　貴之 土田　良樹 鶴見　勇樹 寺方　亮二 松尾　正人	平成18年 10月 1日 ～ 平成19年 3月31日	メタン発酵処理による学生食堂排水の浄化 平成18年10月1日 当研究室では、現在油脂類のメタン発酵処理や廃食用油からのバイオディーゼル燃料製造工程で発生する洗浄排水のメタン発酵処理の研究を行っている。これらの研究は、いずれも油分を分解することに関係しており、食堂排水中の油分の除去にも応用できる。本研究では、これまでの技術をベースにして効率よく処理を行う方法を検討する。
3	研究テーマ：ブロック塀等が街路環境に及ぼす影響に関する調査研究（宮代町について） 研究代表者：加村　隆志　建築学科　講師 教職員：加村　隆志　建築学科　講師 学　生：久保　優　倉田　紘充（4年） 学　外：長堀　康雄（宮代町町民生活科　安心安全室長） 西野　宏滋（日本建築学会　ブロック塀の防災対策WG　委員）	平成18年 7月 1日 ～ 平成19年 3月31日	既存のコンクリートブロック塀は、法令や学会基準を順守せず設計・施行されているものが多く、地震時および強風時における被害が多発しており、ブロック塀の安全対策は、防災上重要課題のひとつとして挙げられている。そこで本研究では、宮代町の既存ブロック塀の安全性についての現状調査を行い、その現状を把握するとともに防災上の問題点（特に塀の倒壊による街路の通行障害）との関係を整理・指摘し、対応策を検討することを目的とする。
4	研究テーマ：燃料電池駆動の二足歩行ロボットの研究 研究代表者：石田　武志　システム工学科　講師 教職員：石田　武志　システム工学科　講師 学　生：サブ・グループ1（燃料電池による電源システムの開発） サブ・リーダー磯部　祥（4年） 小野　寛幸 小林　達也 サブ・グループ2（ロボットの制御システムの開発） サブ・リーダー森川　広国（4年） 牧　顕二郎 山口　大輔	平成18年 8月 1日 ～ 平成19年 3月31日	既存の小型二足歩行ロボットはすべてバッテリーにより電力が供給されているが、これを燃料電池で駆動するものへと改造・開発を行う。ロボットは動作により大きく必要電力量が変動するが、燃料電池の電力特性を考慮して適性に電力を供給できるシステムを研究開発することを目的とする。一連の開発により、燃料電池という新しいエネルギーシステムに対する学生の興味を喚起することが可能となる。さらに完成ロボットを学内に展示することで、エコ・ミュージアム化にも貢献できると考えられる。
5	研究テーマ：マイクロバブルによる食器洗浄後の油水分離の研究 研究代表者：鈴木　清　システム工学科　教授 教職員：鈴木　清　システム工学科　教授 学　生：卒論生　根岸　治 星野　真宏 森　心	平成18年 6月 1日 ～ 平成19年 3月31日	油水がエマルジョン状態になった食器洗浄後の汚水にマイクロバブルを吹き込むことで、油分のみを分離回収する技術を構築する。 2.マイクロバブルを洗浄槽中に発生させることにより、食器類に付着した油分を洗剤等の使用量を最小にして洗浄する方法を構築する。
6	研究テーマ：半導体研究における排風騒音の低減に関する研究 研究代表者：鈴木　敏正　システム工学科　教授 教職員：鈴木　敏正　システム工学科　教授 学　生：金　聖祐（博士後期3年） 大石　将太（博士前期2年） 佐々木　貴紀（4年）伊藤　晃（研究生）	平成18年 4月 1日 ～ 平成19年 3月31日	システム工学科鈴木敏正研究室では、耐環境電子デバイスを開発するための研究を行っている。そこでは各種特殊ガスを用いているため、排ガス処理装置や大型ブロアが設置されている。これらは常時運転されており、敷地境界で最大60dB（A）の騒音レベルに達している(条例による規制値は昼間50dB(A)、夜間45dB（A))。本研究においては、排風装置を低減することを目的に各種の対策を検討する。

※助成額は1件につき20万円

後援会行事抄

平成十八年七月二十九日（土）後援会会報第七十二号、後援会のしおり（平成十八年度版）発行
平成十八年七月十八日（火）～七月二十一日（月）春学期末試験
八月一日（火）～二日（水）盆踊り大会
八月一日（火）夏季休業開始
八月一日（火）～五日（土）サマースクール前期
八月十九日（土）オープンキャンパス
八月二十日（日）～九月十四日（木）英会話カナダ特別セミナー
九月一日（金）英語教育センター開設
九月二日（土）近畿支部創立三十周年祝賀会、第一回ビジネスプランコンテスト授賞式、蔵王支部教育懇談会（山形市・オーヌマホテル）、北陸支部総会・教育懇談会（金沢市・メルパルク金沢）、長野県支部総会・教育懇談会（長野市・メルパルク長野）
九月三日（日）群馬県支部総会・教育懇談会（前橋市・マーキュリーホテル）、栃木県支部教育懇談会（宇都宮市・ホテル丸治）、千葉県支部総会・教育懇談会（千葉市・プラザ菜の花）、茨城県支部総会・教育懇談会（筑西市・茨城県県西生涯学習センター）、近畿支部創立三十周年記念祝賀会・総会・教育懇談会（宝塚市・ホテル若水）
九月九日（土）オープンキャンパス、秋田県支部教育懇談会（秋田市・協働大町ビル）、福島県支部教育懇談会（郡山市・清稜山倶楽部）、沖縄県支部総会・教育懇談会（那覇市・琉球サンロイヤルホテル）
九月十日（日）山梨県支部総会・教育懇談会（春日居町・ホテル春日居）、青森県支部教育懇談会（青森市・青森国際ホテル）、東中国支部総会・教育懇談会（津山市・津山国際ホテル）、西中国支部総会・教育懇談会（広島市・松江東急イン）
九月十一日（月）～二十二日（金）サマースクール後期
九月十七日（日）東海支部総会・教育懇談会（名古屋市・名古屋市民会館）、新潟県支部総会・教育懇談会（長岡市・長岡グランドホテル）、静岡県支部総会・教育懇談会（静岡市・清水テルサ）、九州地区教育懇談会（福岡市・サンライフホテル）、岩手県支部総会・教育懇談会（盛岡市・南部会館サザンパレス）
九月十七日（日）～二十六日（火）アメリカ起業・ベンチャー視察研修の旅
九月十八日（月・祝）四国地区教育懇談会（高知市・ホテルサンルート高知）、北海道地区教育懇談会（札幌市・ホテルサンルート札幌）
九月十九日（火）成績発表（郵送）
九月二十日（水）第七回秋季卒業式
九月二十三日（土・祝）近県教育懇談会打合せ（大学）、サービスセンター連絡協議会
九月二十四日（日）近県教育懇談会（東京・埼玉・神奈川対象、大学で開催）
九月三十日（土）購買部改修・売店部分完工（平成十八・十九年度特別事業）
十月一日（日）第九回秋季入学式、学科主任改選
十月二日（月）秋学期授業開始、英語教育センター開設
十月七日（土）オープンキャンパス
十月十四日（土）宮代会幹事会
十月二十一日（土）～二十二日（日）役員会・理事会（赤倉山荘）
十月二十七日（金）本学とNPO法人「きらりびとみやしろ」の相互支援協定調印式
十月二十九日（日）第二十三回吹奏楽団定期演奏会
十一月三日（金・祝）～五日（日）大学祭（テーマ「結～YUI」）
十一月四日（土）福島県支部・青森県支部・千葉県支部大学視察研修、第七回ホームカミングデー（七期・十七期・二十七期）
十一月五日（日）第二十回建築設計競技表彰式
十一月七日（火）～十一日（土）学内教員相互授業参観
十一月十八日（土）新潟県支部創立三十周年記念式典、第十回スターリングエンジンテクノラリー大会
十一月二十五日（土）役員会、特別事業委員会、支部連絡協議会

編集後記

今年は暖冬という予報ですが、朝晩めっきり冷え込みが厳しくなりました。そのおかげで関東では例年にも増して紅葉が美しかったように感じられましたが、皆様の地域はいかがだったでしょうか。

後援会の財務を担当されていた倉島経理課長が八月一日付けで用度・管財課長及び財務部企画担当課長に任命されたことに伴い、新たに後任として磯　雄二経理課主任が後援会財務担当となりました。倉島課長には大変お世話になり有難うございました。今後益々のご活躍をご祈念申し上げます。

後援会会員の皆様へ
今回「天満宮だより」を同封いたしましたので、あわせてご高覧ください。

相談票をご利用下さい

後援会では会員各位にこの相談票を通して、いつでも学生の成績・生活・就職等ご相談に応じられる窓口を開いています。右の票（便箋、ハガキでも結構です）に相談されたい事項や、ご意見、ご希望等ご記入の上、事務局宛にご送付下さい。可能なかぎり回答します。
ご意見・ご投書・ご寄稿もどしどしお寄せください。（事務局）

相談票

学科学年	
学籍番号	
学生氏名	
会員氏名	
連絡先	〒　TEL